

資源エネルギー庁からの回答に対する会メンバーの感想

2023年5月18日

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

当会の質問状（2023年5月5日付）に対する資源エネルギー庁の回答（2023年5月16日付）について、会メンバーが以下のような感想を持ちました。箇条書きに羅列し、皆さまへ共有いたします。

- ・感想1：心の底から、本当に無責任だと思いました。
- ・感想2：ゼロ回答と言うよりも、質問は全く無視して、事業を進める意思だけを伝えてきたと思う。
- ・感想3：しっかりと対応すると言い切ってほしかった。それを第一に明記しなかったのは、地層処分の調査に伴う住民ケアはやる気がないということだと感じた。
- ・感想4：風評被害、差別的な待遇を地域外の人々から受けたとしても、国は「事実関係が確認できなかった」と言って、対応しないのだろうと感じた。
- ・感想5：一番、カチンと来るのが「いただいたご意見については」って、意見ではなくて「疑問」なんです。だから質問したわけです。
- ・感想6：質問をすり替えて、ご意見にして、改善を検討するのは片岡の「持って来るとは言っていない」と同じでしょう。
- ・感想7：不誠実な回答に断固抗議します。
- ・感想8：私は、この身勝手なおかしな回答を、報道の方にこのまま包み隠さず知らせてほしいです。
- ・感想9：まともに質問に向き合おうともしない誠実さのかけらもない回答。
- ・感想10：経産省としての政府の責任は「何があっても国全体のエネルギー政策を進めること」であり、地域で生じている分断や風評被害は地域固有の問題であって、経産省は個々の問題には関与しないということを、一方的に文字にした回答にもなっていない回答。経産省が地域の問題に責任を持たないのであれば、なぜ、寿都のまちづくりに関わるのか？矛盾していないか？
- ・感想11：下堀課長宛に公開質問状を出したのに、回答が課長名ではなく放射性廃棄物対策課の下堀氏個人名で来ていることがおかしいし、極めて失礼。通常、組織としての回答であれば、課長名で回答するのが当然。今後、何かあった場合に「あれは、放射性廃棄物対策課としての公文書ではなく、私の私見（メモ）」と責任回避できるようにしておくため？
- ・感想12：質問に対しての回答が全然的を射ていなく、その場しのぎ感がにじみ出ている。はい いいえ での回答をお願いしているのに無視。
- ・感想13：回答の初めに、「具体的な事実関係に応じて対応すべきと考えており～」とあり

ますが、たとえば、対話の場のファシリテーターは NUMO が選出した人物であり、というのは事実であり、すぐにでも確認できる事柄です。そのような事実でさえ、事実を精査してからでないと回答できないとは、およそ考えられないことです。基本的に、回答は回答になっておらず、誠意も感じられませんので、再質問しますので「速やかに（精査して）」お答えください。

なお、本回答に対する正式な会としての解釈は、過去の原子力問題の類似事例を整理し、専門家のご意見もいただいた上で、公開したいと考えています。